

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 池田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	65.61	96.62	5,016

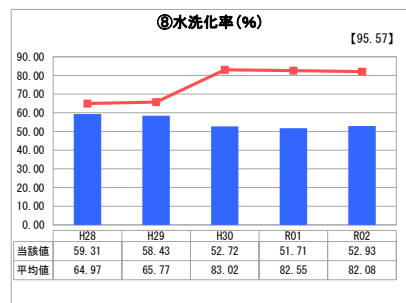
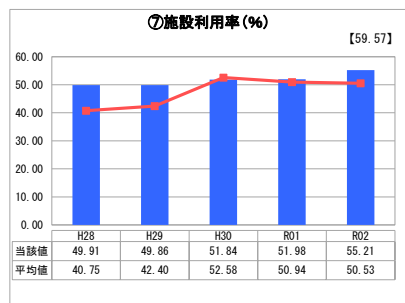
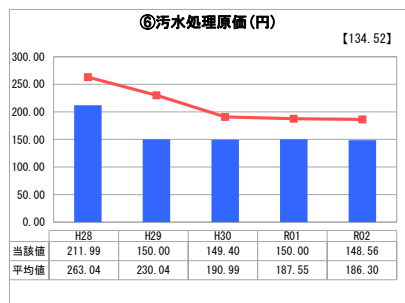
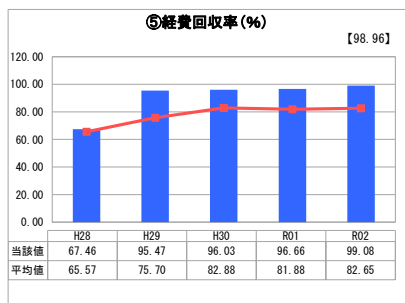
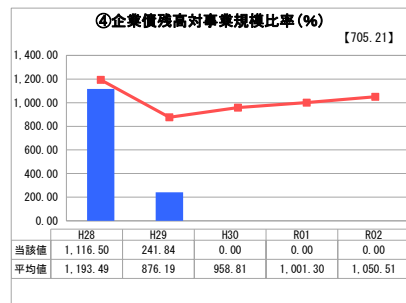
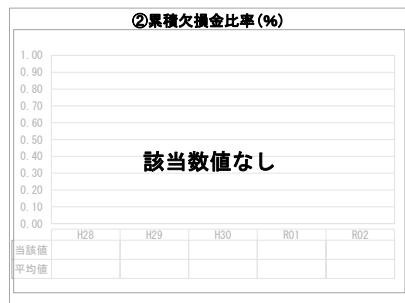
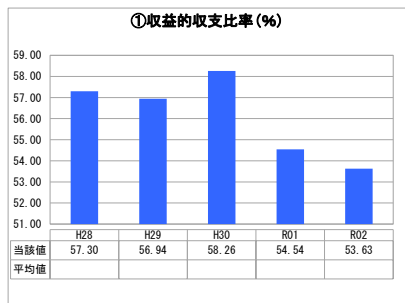
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,563	38.80	607.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,416	5.63	2,738.19

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

整備途中であることから、建設改良費に係る地方債償還金に充てる割合が多いため、料金収入だけでは賄えない。一般会計負担に依存せざるを得ない状況である。

さらに管渠整備後間もない区域が多く、合併浄化槽の整備が既に済んでいる住居も多々あることや、独居を含め高齢世帯が多いため水洗化工事に対して消極的となっていることが、水洗化率の低水準に繋がっている。

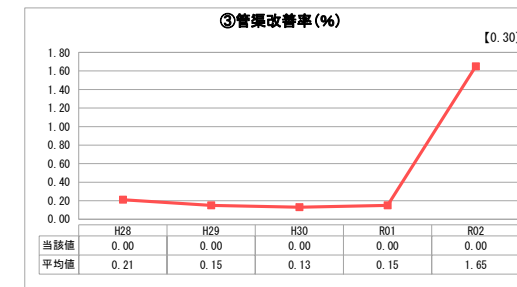
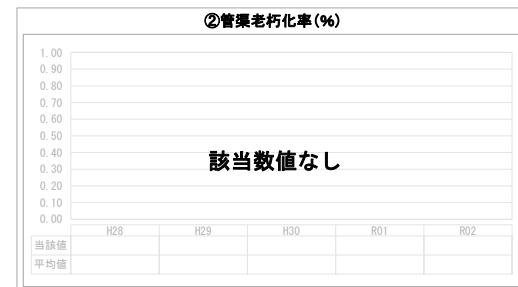
今後は、広報誌への記事掲載など未接続世帯に対する接続推進を継続し、健全性を確保するために接続率向上を目指す。

効率性については、施設利用率が平成28年度に減少しているが、これは増設工事が完了し保有処理能力が増加したためである。その後の流入量増加が鈍化しているため、接続率向上により流入量を増加させ利用率向上を目指す。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に着手して平成15年度より供用開始し、現在整備を進めている状況であるため、施設が比較的新しく更新の需要は令和15年以降から発生する。しかしながら、電気・機械設備等は更新時期を迎えるため、令和2年度にストックマネジメント計画を策定した。

2. 老朽化の状況



全体総括

整備途中であるため、まだ投資時期である。今後も実績に基づく増設計画や、将来に向けた老朽化に伴う改築の財源確保等を見据えながら、経営戦略に基づき持続可能な経営体制を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。